

様式1

令和3年度 学校評価表（最終）

学校教育目標	自立貢献 ～自己を認識し、自分の人生を選択し、表現することのできる生徒の育成～
--------	---

a ミッション	生徒や保護者、地域から信頼される学校をつくる。 生徒や保護者が美木中に来て良かった、行かせて良かった。また、教職員が美木中に勤務して良かったと思える学校にする。 ○知育・徳育・体育のバランスを図り、地域に根ざした教育活動の推進 ○学校教育の信頼性の確保と満足度の向上	a ビジョン	①規範意識を身に付け、向上心を持ち、自ら学ぶ意欲的な生徒が育つ学校 ②自他を大切にできる生徒が育つ学校 ③自己を認識し、自分の将来の夢や目標を持つことができる生徒が育つ学校
---------	--	--------	--

尾道市立美木中学校

評価計画				自己評価					学校関係者評価			改善計画						
b 中期経営目標	c 短期経営目標	d 目標達成のための方策	e 評価指標	f 目標値	7月		1月		h 達成度	i 評価	j 結果と課題の説明			k 二次評価			l コメント	m 改善案
					g 達成値	g 達成値	g 達成値	g 達成値			イ	ロ	ハ					
確かな学力 規範意識を身に付け、向上心を持ち、自ら学ぶ意欲的な生徒を育成する。	主体的に学び力を育み、確かな学力を育成する。	・全国学力・学習状況調査の結果で、正答率の低かった問題について、正答率の変化の調査を行う。 ・学習意欲に関する、生徒のアンケートの回答で変化をみとる。	・課題となった問題の通過率を上げる。 ・「学習の振り返りをするときには、「もっと考えてみたいこと」「もっと調べてみたいこと」「もっと工夫してみたいこと」などを考えています。」の肯定的評価の向上。	フラス10% 85%	- 83%	フラス9.75% 79%	98% 93%	B B	国語・数学の問題を分析し、正答率の低かった文章問題を取り上げ、国語では、フラス12.2%、数学では、フラス7.3%であった。 学習の振り返りについてのアンケート結果では、肯定的評価が、1年生86.9%、2年生75.8%、3年生72.5%であった。中間報告の時点よりも各学年とも肯定的評価が下がっている。授業に対するアンケートの「授業では、解決しようとする課題について、「なぜだろう」、「やってみよう」と思っています。」の肯定的評価は84%と8割を超えていることから、授業が進むに当たって意欲が低下していると考えられる。終末での次時へのつながりを意識した内容や振り返りの時間の設定などさらに課題がある。	2 2	1 1	課題の克服をお願いします。 あと一歩ですね、引き続き、継続していただきたい。	国語では、引き続き問題文から必要な情報を適切に読み取らせ、何を聞かれているかを明確にできるような指導をする。数学では、数学的用語を適切に使って説明できるようにするため、日常の問題を取り上げ、実感を持って考えられるようにし、様々な問題に取り組ませたい。 振り返りを書かしているが、生徒が振り返りをしっかりと書けるよう、書く時間を確保する。また、生徒が授業の終末に、次時に期待を持ち、学習意欲を保ったまま授業が終わるような工夫を行っていく。そのためには、1時間の授業だけでなく、単元構想を見直していく。					
豊かな心の育成 自他を大切にできる生徒を育成する。	規範意識や礼儀など、豊かな心を育成する。	・授業前に黙想を実施し、授業に臨む態度を養う。 ・生徒会を中心に、あいさつ運動を実施する。	・学校評価アンケートの「学校や社会のルール・マナーを守っている。」の肯定的評価の向上。	90%	99%	97%	108%	A	落ち着いた態度で授業に臨んでいる。授業前の黙想の注意点について、教職員と生徒同士が共通理解を行い、よりよいものにしていくよう日々改善を図っていく。 あいさつ運動を実施する期間が短く、今後は定期的な実施を計画する必要がある。91%の生徒が、自ら進んであいさつをしているというアンケート結果がでている一方で、地域からはあいさつの元気がないといった声も出ている。	2 2	1 1	継続してお願いします。 目標達成できて、すばらしいです。	引き続き黙想に関する取組を行い、落ち着いた学校生活を送らせると同時に、自主的にルールやマナーを守る意識を持たせる。その為に、自分でルールを設定する等、よりよい集団生活を送る為にどうすべきかを考えさせる。 定期的（学期毎）に活動場を取り入れ、生徒会を中心にあいさつ強化月間を設ける等、日常的にあいさつができる環境作りを行う。また、友友会と連携し、地域一帯となって取り組める機会を設ける。					
健やかな体の育成 自己を認識し、自分の将来の夢や目標を持つことができる生徒を育成する。	夢や志の実現に向けて、粘り強く挑戦する逞しい気力と体力を育成する。	・学校行事や部活動を通して、生徒の主体的な活動場を設定し、自分の良いところを認識させる。 ・気力と体力をつけさせるため、基本的な生活習慣を身に付けさせる。	・学校評価アンケート「学校行事や部活動によって自分は体が鍛えられたと思う」「粘り強くなったと思う」の肯定的評価の向上。 ・生活習慣アンケート「朝食摂取、起床時刻・学習開始時刻・就寝時刻の固定」についての数値の上昇	85% 85%	81% 74%	81% 77%	95% 90%	B B	「学校行事や部活動によって自分は体が鍛えられたと思う」82%「粘り強くなったと思う」80%と、平均して81%の肯定的評価があった。残りの20%の生徒が自分の役割の重要性や自己肯定感を持つような取組を行っていく。 「毎日朝食を食べている」92%「起きる時刻寝る時刻を決めて守っている」74%と、平均して83%の肯定的評価があった。基本的な生活習慣に課題のある生徒への個別指導や全体への保健指導等を充実させ、改善に向けて取り組ませたい。	2 2	1 1	課題の克服をお願いします。	学校行事や部活動を行う意義や目標設定をリーダー（部長）を中心に考えさせ、他の生徒に伝えていく。また、活動後に振り返りシート等を活用し、意欲や目標に対しての達成度や他者への貢献についてまとめ、学校通信等で情報発信を行う。 生活習慣アンケートや日々の様子から、課題のある生徒への個別指導や保護者連携を行い、場合によって専門機関と連携する等、改善を図る。また、専門家を招き、外部講師の授業を行う等、全体指導も取り入れ、自己の生活習慣を見つめ直す機会を設ける。					

【自己評価 評価】
 A: 100≦(目標達成)
 B: 80≦(ほぼ達成)<100
 C: 60≦(もう少し)<80
 D: (できていない)<60

【外部評価】 イ:自己評価は適正である。ロ:自己評価は適正でない。 ハ:わからない。